

数学科 2年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
式の計算 1章	4月～6月下旬	数量の関係を文字を用いた式で表したり、簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。	式の計算について1年で学んだことに関連づけて生活や学習に生かすことができる。	文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
連立方程式 2章	6月下旬～7月中旬	連立方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解することができる。簡単な連立方程式を解くことができる。	連立方程式について一元一次方程式で学んだことに関連づけて生活や学習に生かすことができる。	連立方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
一次関数 3章	7月中旬～9月	一次関数について理解することができる。二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。	一次関数について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
図形の調べ方 4章	10月～11月中旬	平面図形の性質を理解することができる。証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。	図形の調べ方について学んだことを論理的に説明することができる。	平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
図形の性質と証明 5章	11月中旬～12月	直角三角形の合同条件について理解することができる。証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。	図形の性質と証明について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
場合の数と確率 6章	1月～2月中旬	場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解することができる。確率を求めることができる。	場合の数と確率について学んだことを学習に生かすことができる。	確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
箱ひげ図とデータの活用 7章	2月中旬～3月	箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。データを整理し、箱ひげ図で表すことができる。	箱ひげ図とデータの活用について学んだことを学習に生かすことができる。	箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
方法的な評価の方法		・定期テスト・小テスト・授業での発言・ふりかえり等の提出物	・定期テスト・小テスト・授業での発言・ふりかえり・テスト直し等の提出物	・授業中の発言・ふりかえり・テスト直し等の提出物